

編集後記

「…は常に反省の上に成り立っている」と言ったのは誰だっただろうか？昨年度、広報は経費と時間の削減、および出版の速報性を目的として、従来の紙媒体を利用した広報ではなく、電子出版、それもネットワーク上のみという形式を学内各部局に先駆けて実行し、複数の方からご支持もいただきました。今年度はより内容を充実させ、さらに多くの方のご指示をいただけるように！と考えて編集作業に取りかかったわけです。が、それなのに！昨年、あれだけ苦労して、大いに反省もしたはずだったのに！今年も同じ轍を踏んでしまいました。いや、さらに、悪化させてしまったと言うべきでしょうか？発行日がずれ込み、関係各位には大変なご迷惑をおかけすることになってしまいました。まずは、そのことに関して、こころよりお詫び申し上げます。

#この年度末は、例年以上に忙しかったような気がするのは私の気のせいでしょうか？

本年度の広報は一昨年度来、当総情センターが力を入れている情報教育、特に e-Learning に関する報告に重点をおき編集しました。これは熊本大学の目指す KU4U に沿っているだけでなく、我々が考え、模索している新しい大学やその講義の在り方を広く皆さまにお伝えしようと考えたからです。まだまだ、その門を叩いたばかりで、ほんの入口にいるに過ぎません。今後は学内の多く教職員の皆様にご支援、ご協力を仰ぎながらいっそうの努力をしていこうと考えています。本広報をお読みくださり、ご意見やコメントなどをお寄せくださる方がいらっしやれば、それは我々としては望外の喜びです。よろしければ、ご私見をお寄せください。

次年度からは国立大学法人 熊本大学 総合情報基盤センターとなります。当センターのスタッフ一同、心構えを新たにして、教育と業務に当たりたいと考えております。学内外の関係各部所、各位にはこれまで以上のご支援とご鞭撻をお願いいたします。

最後になりましたが、「超」多忙な業務をぬって、広報原稿や資料を提示してくださったセンターのみなさま、ご協力どうもありがとうございました。(ちょっと遅刻しましたが)何とか出版までこじつけることができました。次年度もよろしく願います。

皆さん。来年こそは「絶対に」原稿の締め切りを守ってくださいね。(涙)

この部分は発刊 2 号目にしてすでにお約束かなあ？(爆々)

(編集担当)

発行 熊本大学 総合情報基盤センター

発行日 平成 16 年 3 月 31 日

編集長: 右田 雅裕

担当編集者: 松葉 龍一

860 - 8555 熊本市黒髪 2 丁目 39 - 11

URL: www.cc.kumamoto-u.ac.jp

E-mail: www-admin@cc.kumamoto-u.ac.jp

2003 Annual Report

Center for Multimedia and Information Technologies

Kumamoto University

Copyright (C) 2004 Center for Multimedia and Information Technologies, Kumamoto University

■ 巻頭言

総合情報基盤センターの立ち上げ 総合情報基盤センター長 秋山秀典

2002年4月に熊本大学総合情報基盤センターが発足し、2年が経過した。教官8名、技官3名、研究員2名、事務補佐員3名が一丸となって、情報基礎教育の実施とシステムの管理運用を行っています。特に、熊本大学の高度情報キャンパスに向けて、全学無線LANシステムの構築、熊本県と熊本大学間ネットワーク構築、講義支援システムとしてのWebCTの運用、情報セキュリティポリシーの運用等、逸早く取り組んでいます。これらのいくつかは学会誌にも掲載される等、研究とセンター業務がリンクした良い形をとることができました。今後ともセンター運営に関するご理解とご支援を宜しくお願い致します。

■ e-Learning を利用した情報教育

● 情報基礎教育

2002年度に引続き、29クラス1800名の1年次生を対象に情報基礎教育を行いました。どの学部を卒業しても、コンピュータ操作や情報公開技術など一定レベルの情報技術の習得を大学として保証することが目的です。今年度は、クライアントパソコン920台とサーバ群から構成される情報教育システムが新たに整備され、最新設備で効果的な授業が可能となりました。e-Learningシステムも授業に積極的に導入し、学生にも好評でした。

● 情報処理概論

今年度より、法学部、教育学部、理学部、工学部(の一部)の1100人の2年次生を対象とした必修科目「情報処理概論」が始まりました。授業は夏期に集中講義形式で行い、情報系の資格取得を意識した内容で構成された対面授業を行うとともに、各項目毎にe-Learningシステムによる試験を実施しました。

● 熊本大学 e-Learning システム

昨年度、e-Learningシステムとして、小規模ながら、WebCT、InternetNavigware、WebClassが導入されました。導入したばかりにもかかわらず情報基礎教育、地域貢献を中心に大いに活用されてきています。

● 地域貢献特別事業支援

平成15年度地域貢献特別事業の一環として、地域貢献シンポジウムの技術サポートを行ないました。熊本大学と熊本県庁とをテレビ会議システムで結び、遠隔会議を実施し、その模様のリアルタイムストリーミング配信を行いました。

■ 全学無線LAN システム

昨年度整備した無線LAN基盤の上に無線基地局を大幅に増設し、ユーザ認証の上各自のパソコンから無線でアクセスして使える全学無線LANを整備しています。個人認証と暗号化通信により高度セキュリティを実現します。

■ VPNシステム

家庭のインターネット接続の多くがFTTH、ADSL、CATV等のブロードバンド化された現在、自宅からSOSEKIなどの学内専用サービスを利用したいという要望が多くなりました。そこで、暗号化通信を使い安全にKUICに接続する仕組みを構築しました。それが、ここで紹介するVPNシステムです。

■ 熊本大学セキュリティポリシーの概要と実施手順

熊本大学における情報セキュリティ実施手順書(案)を作成致しました。どのようにこの実施手順書を解釈すれば良いのかについて、実施手順書の基本的考え方を呈示、紹介したいと思います。

■ 研究紹介

- ・スキルアップ！ー熊大発e-Learningコンテンツの作成、管理、配信ー
- ・ヴァーチャルリアリティの教育への応用と汎用化に関する研究
- ・コンピュータシステムログの統計解析とセキュリティ 等

■ 平成15年度総合情報基盤センター研究、業務報告

※詳細はホームページをご覧ください。

(発行)

熊本大学

総合情報基盤センター

平成16年3月31日